

モデルルートにおける試行について(案)

趣旨

委員会の趣旨・これまでの議論と進め方

○「北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)」では、北海道において、アジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指しており、サイクルツーリズム等の振興等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進するとともに、施策の推進にあたっては、産学官民連携による「プラットフォーム」を形成することとされている。

○平成29年5月には「自転車活用推進法」が施行

個性豊かな景観や食など、北海道の魅力を活かしたサイクルツーリズムを推進するため、下記の検討が必要

- 受入環境を充実させるための方策
- 情報提供・サイクリストとのコミュニケーションの方策
- 自転車走行環境を改善するための方策
- 持続的に取組を進めるための体制や役割分担等の実施要綱 等

平成29年2月「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会(事務局:北海道開発局・北海道)」を設立

これまでの議論と進め方

第1回
(H29.2.24)

- サイクルツーリズムを取り巻く環境や、委員会の検討範囲と論点、自転車走行環境改善・利用者参画型の情報発信の方向性を議論
- 検討を実施するために、モデルルートを設定して試行を行うことと整理

第2回
(H29.5.16)

- 自転車走行環境や受入環境改善の具体的な試行の内容や、試行で実施する各種調査の方法について議論
- モデルルート設定の考え方を整理

第3回【今回】
(H29.6.28)

- 今夏に試行を実施するモデルルートの整理

試行の準備

H29~30

モデルルート試行の実施

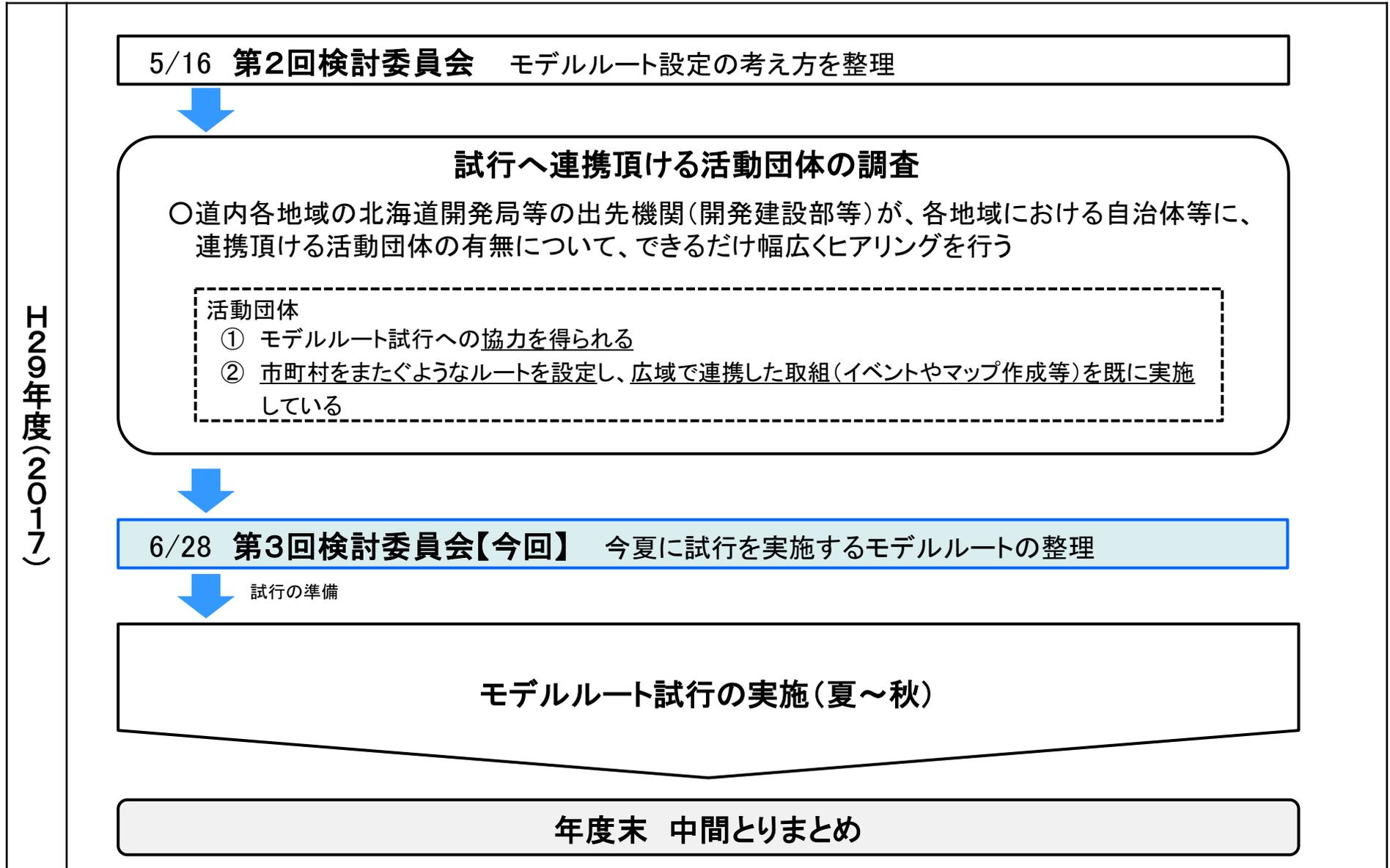
- 試行を踏まえた中間とりまとめ

H30年度

北海道のサイクルツーリズム推進方策 とりまとめ

モデルルート設定の考え方

○モデルルート設定の流れ



試行へ連携頂ける活動団体の調査

○北海道開発局の出先機関(開発建設部)が、各地域における全ての自治体に連携頂ける活動団体の有無についてヒアリング

○調査結果

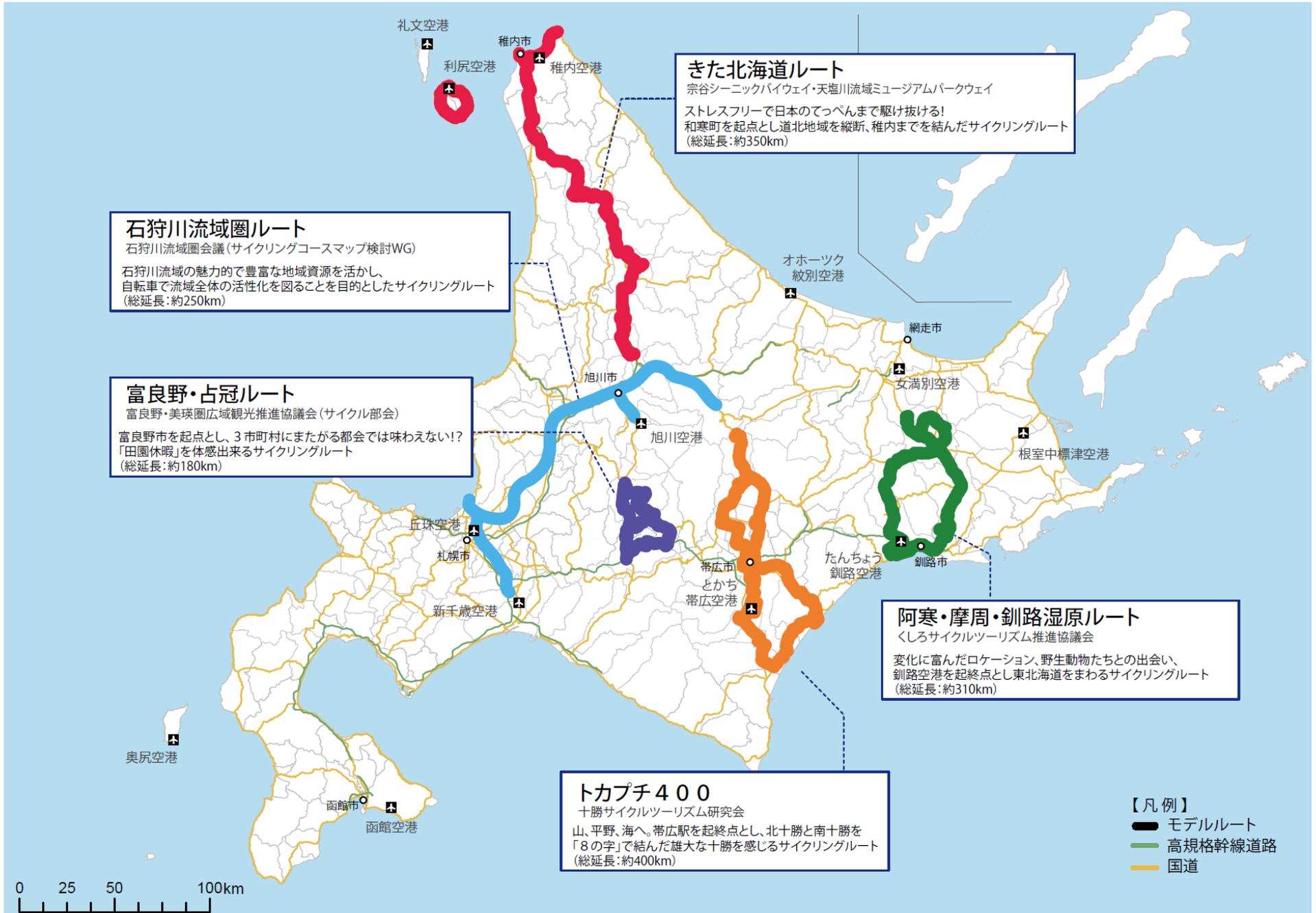
- ・広域で連携した取組を既に実施しており、モデルルートへの試行に協力を得られる活動団体を確認
- ・上記の活動団体が市町村をまたぎ骨格となるような5つのルートで活動を実施している

ルート名	きた北海道ルート	石狩川流域圏ルート	阿寒・摩周・釧路湿原ルート	トカプチ400	富良野・占冠ルート
通過市町村数	17市町村	25市町村	5市町村	12市町村	3市町村
ルート延長	約350km	約250km	約310km	約400km	約180km
活動団体	・宗谷シーニックバイウェイ ・天塩川流域ミュージアムパークウェイ (※両団体が連携してルートを設定)	・石狩川流域圏会議(サイクルコースマップ検討ワーキンググループ)	・くしろサイクルツーリズム推進協議会	・十勝サイクルツーリズム研究会	・富良野・美瑛圏広域観光推進協議会(サイクル部会)
既に実施している又は今後実施予定の広域で連携した取組(主なもの)	・サイクルラック設置 ・海外でのプロモーション活動 ・海外からのツアーを招聘 ・宿から宿への「手荷物即日配送」の実施	・サイクルマップ作成 ・河川敷地を活用したサイクリングコース周辺におけるサイクルショップ・レンタサイクル店との連携	・サイクルラック設置 ・海外でのプロモーション活動 ・海外のサイクルトラベル会社招聘	・現地実走による課題把握 ・有識者を交えた勉強会の開催 ・サイクルイベントの開催	・サイクルラック設置 ・サイクルマップ作成 ・海外でのプロモーション活動 ・海外からのツアーを招聘



以上の5ルートを、今夏に試行を実施するモデルルートに設定したい

今夏に試行を実施するモデルルート(案)



きた北海道ルート
 宗谷シーニックバイウェイ・天塩川流域ミュージアムパークウェイ
 ストレスフリーで日本のてっぺんまで駆け抜ける！
 和寒町を起点とし道北地域を縦断、稚内までを結んだサイクリングルート
 (総延長：約350km)

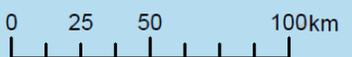
石狩川流域圏ルート
 石狩川流域圏会議(サイクリングコースマップ検討WG)
 石狩川流域の魅力的で豊富な地域資源を活かし、
 自転車で流域全体の活性化を図ることを目的としたサイクリングルート
 (総延長：約250km)

富良野・占冠ルート
 富良野・美瑛圏広域観光推進協議会(サイクル部会)
 富良野市を起点とし、3市町村にまたがる都会では味わえない！
 「田園休暇」を体感出来るサイクリングルート
 (総延長：約180km)

阿寒・摩周・釧路湿原ルート
 くしろサイクルツーリズム推進協議会
 変化に富んだロケーション、野生動物たちとの出会い、
 釧路空港を起終点とし東北道道をまわるサイクリングルート
 (総延長：約310km)

トカプチ400
 十勝サイクルツーリズム研究会
 山、平野、海へ。帯広駅を起終点とし、北十勝と南十勝を
 「8の字」で結んだ雄大な十勝を感じるサイクリングルート
 (総延長：約400km)

【凡例】
 ● モデルルート
 ■ 高規格幹線道路
 ■ 国道



モデルルートの実行により検証する内容

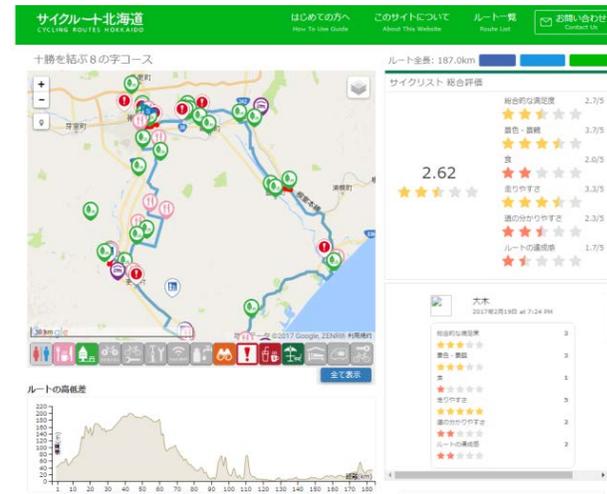
受入環境の改善



- ①休憩・宿泊施設
- ②交通施設・輸送サービス
- ③サポート体制
- ④レンタサイクル環境

等のニーズや満足度

情報提供・サイクリストとのコミュニケーションの方策



コミュニケーションサイトの使いやすさ、わかりやすさ、ニーズ等

自転車走行環境の改善



- ①路面表示の設置間隔及び位置
- ②案内看板(ルート表示)の設置間隔、位置及び高さ
- ③ルート診断手法

持続的取組を進めるための体制・役割分担



- ①経済波及効果
- ②サイクリング客数 等

